

豪農の慈しみがはぐくんだ 農村花開く庭園文化

かつて農民の生活を維持するため、9年もかけて盛美園を造園させた清藤家。庭園文化をはぐくんだ地主の優しさを感じながら巡ります。

国指定名勝 盛美園

1902年（明治35年）から9年の歳月を費やし作庭された面積約12,000㎡の名庭園。津軽地域に多く見られる「大石武学流」を代表する庭園で平川市に造園業が栄えたきっかけのひとつとされています。庭園を鑑賞するため建てられた盛美館の1階は数寄屋造りの純和風、2階はルネッサンス調の洋館となっています。



開園：9時～17時
（4月中旬～9月末）
9時～16時30分
（10月～11月中旬）
入園料：500円

国指定名勝 清藤氏書院・庭園

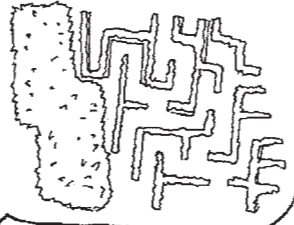
津軽地方に多く見られる「大石武学流」の源流であると考えられている庭園。1873年（明治6年）に建築された母屋とともに国名勝に指定されています。



開園：9時～17時
※要予約
入園料：300円

生垣迷路

ドウダンツツジやイチイなど多品種の生け垣きで形成されています。小さい子供でも挑戦できる迷路です。

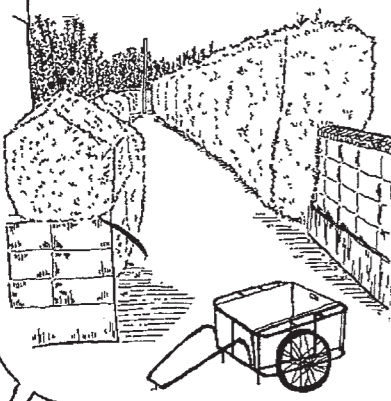


四季の蔵もてなしロマン館



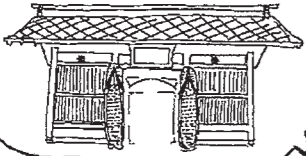
リヤカーけんど

「けんど」は津軽弁で「道路」のこと。昔、この道は多くのリヤカーが通っていたため、リヤカーけんどと呼ばれています。生け垣とりんご園に囲まれた小径です。



神宮寺

津軽一代様巡りを一度に行うことが出来る一尊の八本尊。



蓮乗院

猿賀山十二坊の一つ。ひときわ目立つ大きな釣鐘が目印。

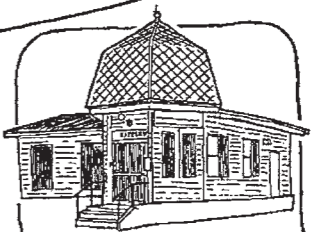


松田養鋳場



尾上駐在所

盛美館を模して建てられたレトロ感あふれる魅力的な駐在所。



青りんごのガードレール
青森県にしかないりんごの形をしたご当地フェンス。

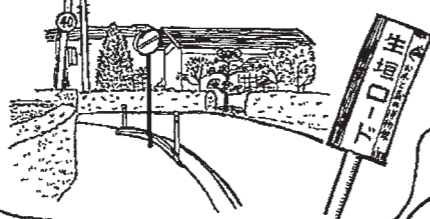
平川市役所
尾上総合支所
最上階にはりんごのステンドグラスが施されています。



生け垣ロード

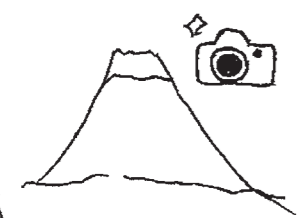
平川市は緑あふれる街。その中でも尾上地域は生け垣が多い街並みが続いており、全国でも珍しい「平川市の生け垣を守り育てる条例」も制定されるほど。

そんな尾上地域にある生け垣ロードの中でもサワラの生け垣は「香り風景100選」にも選ばれており、お散歩コースにおすすです。



岩木山絶景

スポット
稲が揺れる田んぼと岩木山の風景は絶景。



津軽尾上駅

つかるおのえ
津軽尾上
TUGARUONOE



旧尾上町のマンホール蓋
尾上地域には今もなお、旧尾上町デザインのマインホール蓋が存在します。蓋には町章をはじめ、旧尾上町の象徴である黒松、蓮の花、キジバトが描かれています。